

平成30年4月3日 在日米軍プレスリリース（仮訳）

米空軍CV-22オスプレイが横田飛行場に到着

横田飛行場、日本 — 本日、在日米軍は5機のティルトローター機CV-22オスプレイが今週後半に横田飛行場（東京）へ到着すると発表した。

太平洋軍が管轄する地域へのCV-22の到着は、最近発表された2018米国防戦略に沿った地域の安全保障上の懸念に対応するものである。また、自然災害又は危機に迅速に対応するためのプラットフォームを提供する。これにより、CV-22の到着スケジュールが、以前発表した2020年から変更となった。

CV-22は今後数か月間にわたり地域で訓練を行うために出発する前の短期間、横田に留まる。当該訓練から帰還した後、横田からの運用を継続する。地域での航空機の運用を支援するため、今後数か月間で追加の部隊要員が横田に到着する。今後数年間にわたる段階的な配備計画で計10機が横田に配備される。

CV-22オスプレイは他に類を見ない非常に高度な能力を備えた航空機であり、また運用面でも優れた安全性を持っている。CV-22オスプレイは日本の防衛に対する米国の関与の一環として地域に比類なき特殊作戦能力をもたらす。ヘリコプターの垂直離着陸能力と従来の固定翼機のスピード及び航続距離を合わせ持ったこの革新的な航空機は、特殊作戦部隊に比類なきスピード及び汎用性を与え、戦闘能力及び地域での有事に対する対応能力を向上させる。

CV-22は、イラク、アフガニスタン、韓国、オーストラリア、グアムを始め世界中の様々な地域で運用されている。

CV-22オスプレイに関する更なる情報は、こちらのファクトシートで確認できる。
<http://www.af.mil/About-Us/Fact-Sheets/Display/Article/104531/cv-22-osprey/>